

学協会の機能強化方策検討のための学術団体調査票

実施：MRI株式会社 三菱総合研究所

学術団体名称	
☐ 日本学術会議協力学術研究団体（該当する場合、レを付けてください）	

《ご記入にあたって》

- ・特に指定がない限り、平成 19 年 1 月 1 日現在でお答えください。
- ・該当する口に、レを付けてください。
- ・ご記入になりましたら平成 19 年 2 月 28 日(水)までに、同封の返信用封筒にてご返送くださいますようお願いいたします。

《一部に、学協会のみが回答する設問、学協会の連合体のみが回答する設問があります》

ここで、「学協会の連合体」とは、日本工学会、日本歯学系学会協議会、日本地球惑星科学連合などのように、学協会が構成メンバーとなっている団体をいいます。(以下「連合体」と略します。)

以下の情報は個人情報となりますので、同封の「個人情報のお取り扱いについて」に同意の上、ご記入ください。ご記名いただいた場合には、ご同意(ご了解)とさせていただきます

記入責任者氏名		団体内役職	
住所			
電話番号		FAX	
E-mail			

1 団体の概要

1.1 専門分野について、以下の日本学術会議の委員会の分野で対応するものを選択して下さい。 (複数選択可)

(複数選択の場合は、一番関連の強い分野名を○で囲んでください)

第一部関係	第二部関係	第三部関係
☐ 01 言語・文学 ☐ 02 哲学 ☐ 03 心理学・教育学 ☐ 04 社会学 ☐ 05 史学 ☐ 06 地域研究 ☐ 07 法学 ☐ 08 政治学 ☐ 09 経済学 ☐ 10 経営学	☐ 11 基礎生物学 ☐ 12 応用生物学 ☐ 13 農学基礎 ☐ 14 生産農学 ☐ 15 基礎医学 ☐ 16 臨床医学 ☐ 17 健康・生活科学 ☐ 18 歯学 ☐ 19 薬学	☐ 20 環境学 ☐ 21 数理科学 ☐ 22 物理学 ☐ 23 地球惑星科学 ☐ 24 情報学 ☐ 25 化学 ☐ 26 総合工学 ☐ 27 機械工学 ☐ 28 電気電子工学 ☐ 29 土木工学・建築学 ☐ 30 材料工学

1.2 貴団体(又はその前身)の設立時期について

西暦_____年

1.3 現行の設置形態(学協会・連合体の別、組織の形態)について

(1) 学協会・連合体の別

- ☐01 連合体に所属していない学協会
☐02 連合体に所属している学協会：(所属連合体名_____)
☐03 学協会の連合体

(2) 組織の形態

- ☐01 社団法人
☐02 財団法人
☐03 特定非営利活動法人(NPO 法人)
☐04 有限責任中間法人
☐05 その他法人(_____)
☐06 法人格がない

<1.4は、「学協会」のみ回答ください。>

1.4 【学協会のみ】部会・研究会・専門委員会など専門分野または活動・事業別の下部組織について(複数回答可)

- ☐01 専門分野別に下部組織がある (下部組織の数_____)
☐02 活動・事業別の下部組織がある (下部組織の数_____)
☐03 その他下部組織がある
☐04 下部組織はない

2 事務局

2.1 貴団体本部の事務職員について

- ☐01 事務職員がいる（専任職員数：__名，パートタイムの事務職員：（勤務時間：__人日/週））
- ☐02 事務職員はいない

2.2 貴団体の本部の事務局の場所・形態について（複数回答可）

- ☐01 資産として所有している事務所がある
- ☐02 有償で借りている事務所がある
- ☐03 無償で提供を受けている事務所がある
- ☐04 定常的な事務所はない

2.3 管理事務の外部委託について

- ☐01 会費の徴収等の管理業務の一部について外部委託を行っている
- ☐02 外部委託を行いたい、現在の財政状況ではできない
- ☐03 外部委託を行う必要がない

3 会員

< 3. 1～3. 5は、「学協会」のみ回答ください。 >

3. 1 【学協会のみ】会員数について

個人会員	正会員：____ 名, 学生会員数：____ 名
団体会員	団体会員数：____ 団体, 賛助会員数：____ 団体

3. 2 【学協会のみ】会員数についての将来的な見込み(5年後を想定)について

- ☐01 増加する
☐02 ほぼ変わらず
☐03 減少する
☐04 わからない

3. 3 【学協会のみ】会員増についての現在の考え方について

- ☐01 会員増は望ましい(そのために努力している) ☐03 会員増は望ましくない
☐02 会員増は望ましい(とくに努力はしていない) ☐04 どちらとも言えない

3. 4 【学協会のみ】最近の新規(若手)会員の加入について

- ☐01 増加している ☐03 減少している(増加のための努力をしている)
☐02 ほぼ変わらず ☐04 減少している(特段の対応はしていない)
☐05 わからない

3. 5 【学協会のみ】現行の個人の正会員の標準的な会費の額について

正会員の年会費 _____ 円

3. 6～3. 7は、「連合体」のみ回答ください。

3. 6 【連合体のみ】加盟団体数について

加盟学協会数：____ 団体

3. 7 【連合体のみ】加盟学協会からの会費について

- ☐01 会費の負担はない ☐03 各学協会の会員数に応じ分担
☐02 各学協会均等に負担 ☐04 各学協会の収入額に応じ分担
☐05 その他(具体的に: _____)

3. 8は、「学協会」、「連合体」ともに回答ください。

3. 8 外国人会員について

- ☐01 外国人会員はいる ☐02 外国人会員がいない

4 平成17年度の事業

4.1 出版事業(会報・論文誌等発行。ただし講演会・シンポジウム等の予稿集等は除く。)について(複数回答可)

- ☐01 会報を発行している(発行回数: _____ 冊)
- ☐02 論文誌を発行している
種類: _____ 種類, 通算 _____ 冊
投稿された論文の数 平成17年度: _____ 件, 平成16年度: _____ 件
掲載された論文の数 平成17年度: _____ 件
- ☐03 書籍の発行を行っている(出版点数: _____ 点/年)
- ☐04 何も発行していない

4.2 本部主催(最大規模)の研究の発表の場(研究大会など)について

- ☐01 実施している(平成17年度開催数: _____ 回)
- ☐02 実施していないが、過去に実施している(直近、平成 _____ 年度 開催数: _____ 回)
- ☐03 実施したことはない

4.3 一般向けシンポジウム、講演会等(支部・下部組織が企画主催するものを含む。)について

- ☐01 実施している(平成17年度開催数: _____ 回)
- ☐02 実施していないが、過去に実施していた(直近、平成 _____ 年度開催数: _____ 回)
- ☐03 実施したことはない

4.4 外部からの受託事業について(平成17年度)

- ☐01 外部からの受託事業はない
- ☐02 外部からの受託事業を実施した(件数 _____)
- ☐021 規格・標準・用語集の作成
- ☐022 専門的知識を要する調査等
- ☐023 その他

4.5 貴団体に関する電子媒体での情報提供について(複数回答可)

ホームページ	☐ 01 独自の学協会のホームページを運営 ☐ 02 国立情報学研究所(NII)の学協会情報発信サービスを利用したホームページ運営 ☐ 03 その他(_____)
アーカイブ	☐ 04 独自の論文等のアーカイブの構築 ☐ 05 科学技術振興機構(JST)のJ-STAGE等を活用したアーカイブの構築 ☐ 06 その他(_____)
電子ジャーナル	☐ 07 電子ジャーナル化への取り組みを行っている ☐ 08 上記いずれの取り組みも行っていない

4.6 その他実施した事業について(複数回答可)

- ☐01 研究助成 ☐04 社会一般の人を対象にした普及・啓発等
- ☐02 会員活動支援 ☐05 その他
- ☐03 実務家の訓練や資格に関する基準策定、資格付与

5 平成17年度の財政状態

平成17年度のデータがない場合、データが利用可能な直近年でお答え下さい。決算ベースでお願いします。

5.1 平成17年度末の資産・負債

資産		負債	
総額	千円	総額	千円
うち現金・預金等の資産	千円		
うち不動産等の資産	千円		

5.2 平成17年度の実収入

	総額	千円
1	会費収入(連合体の場合は学協会からの)	千円
	(うち、団体及び法人による会費、賛助会費など)	千円
2	会誌・論文集等の出版収入	千円
	(うち、論文誌収入)	千円
3	研究大会における参加費等収入	千円
4	その他の事業収入 (主要なものは_____)	千円
5	補助金(公的)	千円
6	補助金(民間)	千円
7	受託事業収入(公的)	千円
8	受託事業収入(民間)	千円
9	寄付金、協賛金	千円
10	借入金	千円
11	その他	千円

5.3 平成17年度の実支出

	総額	千円
1	事務局の維持等の管理経費	千円
	(うち人件費)	千円
2	会報誌の出版経費	千円
3	論文誌出版経費	千円
4	シンポジウム、講演会の経費	千円
5	研究集会経費	千円
6	その他の事業経費 (主要なものは_____)	千円
7	その他の経費	千円

5. 4 5. 3のうち、社会貢献、情報化関連の支出

社会一般の人を対象にした普及・啓発等への支出	千円
情報化関連(管理費・事業費)への支出	千円

5. 5 前年度からの繰越、次年度への繰越、借入金等を除く、単年度としての実収入と実支出のバランスについて

黒字	☐ 01 実収入総額の10%を超える ☐ 02 実収入総額の10%以内 ☐ 03 実収入総額の5%以内 ☐ 04 実収入総額の1%以内
赤字	☐ 05 実収入総額の1%以内 ☐ 06 実収入総額の5%以内 ☐ 07 実収入総額の10%以内 ☐ 08 実収入の10%を超える

5. 6 (5. 5で赤字の場合のみ)、その措置について(複数回答可)

☐ 01 繰越金の減少(赤字繰越を含む)	☐ 04 積立金の取崩
☐ 02 借入金	☐ 05(03,04)以外の資産の処分
☐ 03 不動産資産処分	☐ 06 その他

5. 7 (5. 5で赤最近2～3年の収支が赤字基調の場合のみ)それに対する措置について

☐ 01 赤字は僅少でありとくに処置はしない ☐ 02 何年かに一度の大会等周期的な事業のための赤字であり、とくに処置していない ☐ 03 支出の削除を図っている ☐ 04 事業拡大等により収入増を図っている ☐ 05 会費の値上げを検討中である ☐ 06 その他

5. 8 貴団体が採っている財政基盤の強化方策について (自由記入)

--

6 国際的活動

6.1 過去5年間に実施した国際集会の主催(主体的な共催も含む。)について

- ☐01 実施した(実施日数: __ 日)
- それは、以下のどの地域の研究者を対象としたものですか。(複数回答可)
- ☐011 アジア, ☐012 環太平洋, ☐013 欧米を含む地球規模,
☐014 その他(_____)
- ☐02 実施していない

6.2 過去5年間に実施した国際集会以外の国際共同事業について

- ☐01 実施した(実施日数: __ 日)
- 事業内容(複数回答可)
- ☐021 国際研究計画立案, ☐022 国際研究組織の編成,
☐023 共同研究等の実施, ☐024 その他(_____)
- それは、以下のどの地域の研究者を対象としたものですか。(複数回答可)
- ☐021 アジア, ☐022 環太平洋, ☐023 欧米を含む地球規模,
☐024 その他(_____)
- ☐02 実施していない

6.3 会誌・論文誌等の国際開放について(電子的なものも含める)

- ☐01 外国語による出版を行っている ☐04 外国語の論文題名をつけている
- ☐02 外国語による投稿を受け付けている ☐05 01-04 のいずれも実施していない
- ☐03 外国語のアブストラクトをつけている

6.4 英文のホームページについて

- ☐01 英文のホームページがある ☐02 英文のホームページはない

7 運営強化

7.1 法人格取得の計画について

注) 今回の公益法人改革では、従来の民法法人(社団法人、財団法人)、中間法人が廃止され、登記だけで設立できる「一般社団」、「一般財団」と、国からの公益性の認定が必要で税制上も優遇のある「公益社団」、「公益財団」が創設されます。このうち「公益社団」、「公益財団」については、「学術及び科学技術の振興を目的とする事業」が公益目的事業の一つに位置づけられました。

(1) 今回の公益法人制度改革の内容について

- ☐01 関心があり、よく知っている
- ☐02 関心があり、概ね知っている
- ☐03 関心があり、少しは知っている
- ☐04 関心がない

(2) 今後の取得計画について（現在法人格を持っている場合は、公益法人制度改革後の移行等についてお答え下さい。

- ☐01 取得の計画がある(公益社団法人)
☐02 " (一般社団法人)
☐03 " (公益財団法人)
☐04 " (一般財団法人)
☐05 " (特定非営利活動法人(NPO 法人))
☐06 " (その他_____)
☐07 取得に関心はあるが計画は未定
☐08 取得の計画はなし

公益法人制度改革については、以下のホームページに詳しく紹介されています。

- ・(財)公益法人協会のホームページ <http://www.kohokyo.or.jp/index.html>
- ・行政改革推進本部事務局のホームページ <http://www.gyokaku.go.jp/>

(3) 現在任意団体で法人格取得の計画が未定又ははない場合にその一番大きな理由について

- ☐01 法人化の要件は満たしているが法人化の手続きが面倒である
☐02 法人化の要件を満たすことが難しい
☐03 法人化すると運営上の手間が大変になる
☐04 任意団体のままで自由な運営を維持したい
☐05 その他

7.2 寄付金優遇税制団体(特定公益増進法人、公益社団、公益財団、認定NPO法人など)の資格取得について

- ☐01 既に取得済み(又は取得の手段中)
- ☐02 取得の計画がある
- ☐03 関心はあるが非常に難しい
- ☐04 計画はなし

＜7. 3、7. 4は「学協会」のみ回答してください＞

7.3 【学協会のみ】最近の5年間の会費の値上げについて

- 01 した → (更新前____千円 → 更新後____千円)
□02 していない

7.4 【学協会のみ】貴団体が行っている、上記以外の団体の運営の強化策について(自由記入)

--

8 事業強化

8.1 貴団体の役割として重要視しているもの、実際に行っている役割について(複数回答可)

	重要視している (チェックした上で一番重要視している項目の番号については○)	実際に行っている
研究成果発表の場	☐ 01	☐ 01
会員相互の交流の場	☐ 02	☐ 02
人材の育成の場	☐ 03	☐ 03
他の学協会との連絡の場	☐ 04	☐ 04
研究の国際交流の場	☐ 05	☐ 05
資格認定、基準策定等	☐ 06	☐ 06
研究成果等の普及・啓発等による社会貢献	☐ 07	☐ 07
その他()	☐ 08	☐ 08

8.2 研究者等の人材育成のために行っていることについて(複数回答可)

(回答欄□にレでチェックした上で一番重要視している項目の番号については○で囲んでください。)

- | | |
|--|---|
| ☐ 01 研修会の実施 | ☐ 04 若手の国際会議への派遣 |
| ☐ 02 学会での若手の発表の場の提供 | ☐ 05 その他() |
| ☐ 03 若手を対象とした賞の創設 | |

8.3 外部からの支援が望まれる事業(公費及び公費以外の寄付なども含む)について(複数回答可)

- | |
|--|
| ☐ 01 論文誌出版事業(外国語による出版を含む) |
| ☐ 02 情報化事業 |
| ☐ 03 出版・情報化以外の国内事業 |
| ☐ 04 国際集会 |
| ☐ 05 国際集会以外の国際事業(外国語による出版を除く) |
| ☐ 06 支援の必要はない |
| ☐ 07 その他() |

<8.4～8.6は「学協会」のみ回答してください>

8.4 【学協会のみ】他の学協会と共同で行っている事業について(連合体への参加を除く)(複数回答可)

(回答欄□にレでチェックした上で一番重要視している項目の番号については○で囲んでください。)

- | |
|--|
| ☐ 01 論文誌、学会誌の共同出版 |
| ☐ 02 研究大会の共同開催 |
| ☐ 03 国際集会の共同開催 |
| ☐ 04 国際学会への対応 |
| ☐ 05 実務家の訓練や資格に関する基準策定、資格付与 |
| ☐ 06 その他の事業 |
| ☐ 07 特に行っていない |

8. 5 【学協会で、連合体に参加している団体の方のみお答えください。】連合体に参加して行っている事業について(複数回答可)

(回答欄□にレでチェックした上で一番重要視している項目の番号については○で囲んでください。)

- ☐01 論文誌、学会誌の共同出版
- ☐02 研究大会の共同開催
- ☐03 国際集会の共同開催
- ☐04 国際学会への対応
- ☐05 実務家の訓練や資格に関する基準策定、資格付与
- ☐06 その他の事業
- ☐07 特に行っていない

連合体に参加している場合、その利点

8. 6 【学協会のみ】類似の学協会との連合化、事業の共同化などを行う計画について

- ☐01 既に行っている
- ☐02 計画がある
- ☐03 関心はあるが計画は未定
(実施(計画)に至らない理由: _____)
- ☐04 計画はなし

<8. 7は「学協会」、「連合体」共に回答してください>

8. 7 今後強化したい事業活動について (自由記入)

9 日本学術会議との連携強化の意向

平成17年10月の日本学術会議における改革により、学術会議と学協会を結ぶ仕組みが大きく変化しました。しかし、学術会議としては、今後とも、学協会との連携は必要だと考えております。そこで、以下の質問についてお答え願います。

9.1 日本学術会議と連合体との連携に関して、以下に対してどのように考えますか。(自由記入)

「個々の学協会間の情報交換等の活性化に資することから、個別の学協会との連携に加えて、より一層緊密な協力を行うこととし、そのことを通じて、日本学術会議と学協会の間での新たな協働関係の促進に努める」
（「日本学術会議の新しい体制のあり方～新体制の円滑な発足のための提案～」日本学術会議の新しい体制の在り方に関する懇談会(平成17年7月)）

9.2 日本学術会議との連携としてどういう内容を望みますか。(自由記入)

9.3 日本学術会議に対して何を望みますか。(自由記入)

（日本学術会議から提供する情報、日本学術会議にくみ上げてほしい情報、日本学術会議と連携したシンポジウム等のあり方など）

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、もう一度ご確認の上、返送用封筒で返送ください。